

つきたい力

Society5.0時代を生き抜くために、主体的に学び、自らの考えを伝えるとともに、他者の考えを理解し、多様な人々と協働して新たな価値を見出しながら、問題を解決しようとする力

取組みの概要・ポイント

小学校から中学校への心の段差を解消するために、校区の小中5校の児童生徒がICTでつながり、教員どうしが連携する。また、児童生徒が発達段階に応じた情報活用能力を身につけ、他者との協働を通して自らの学びを深める。

具体的な取組みの内容



『センパイに何でも聞いて！』

小学6年生の中学校入学に対する不安を解消するために、中学1年生がアンケート作成・プレゼンを実施

7月

- ★中学校生徒会
- ・趣旨を動画メッセージで撮影
- ・アンケートを作成
- ★小学6年生
- ・メッセージ動画を視聴
- ・ロイロノートの資料箱からアンケートに回答



夏休み

- ・小学生からの質問に答える解説動画を作成

9月

- ・友達の作品を視聴
- ・ベスト動画を選出

10月

- ・芸術祭でベスト動画を披露

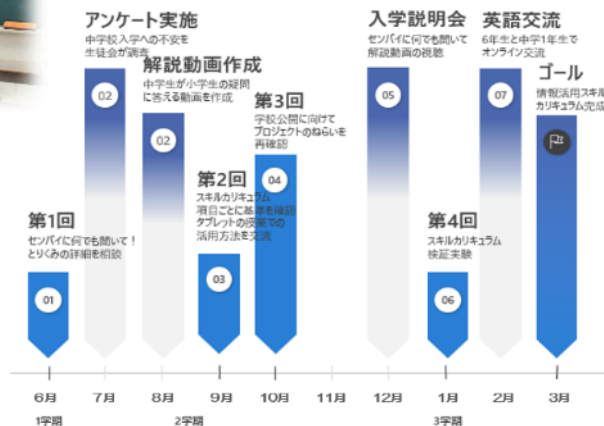
12月

- ・入学説明会で6年生にベスト動画を披露



ダイヤモンドプロジェクト GIGAスクール構想の実現に向けた小中連携

GIGAスクール構想が進む中、授業や学校生活においてタブレット端末の活用が進んでいる。今年度は、中学校の実践だけにとどまらず、校区の小学校と連携し、めざす方向性を一致させ、金剛中学校区全体でGIGAスクール構想に取り組むためのプロジェクトチームを立ち上げた。



プロジェクト会議

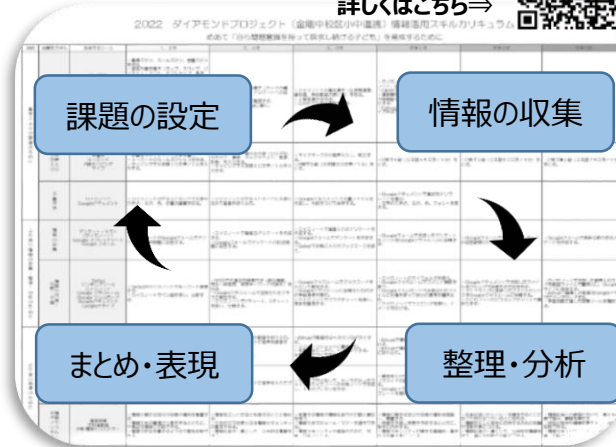
中学校区のICT担当者が定期的に集まり、情報共有・計画・準備



情報活用 スキルカリキュラム



詳しくはこちら⇒



取組みを通しての子どもの変容

『センパイに何でも聞いて！』の動画作成で中学1年生は、6年生から出てきたすべての質問に興味深く目を通し、6年生に語りかける優しさあふれる解説動画を作成していた。この取組みは、動画を見た6年生の不安が軽減されるだけでなく、作った中学1年生が中学校の良さを再認識できる契機となった。9年を見通した情報スキルカリキュラムを小中協働で作成したことで、特に小学校側が児童にどのような力をつけて中学校に送り出せばよいか明確になった。Google Meetで小中をつなぐ英語のリモート授業では、昨年度の1 端末をモニターに提示する形から、今年度はイヤホンを活用し、小グループがそれぞれつながり、対話する形で実施した。中学1年生は、昨年度自分たちが受けたリモート授業の印象が強く、この交流授業を大変楽しみにしている。